

式 辞 令和七年度 入学式

鹿島をわたるあたたかい潮風に、木々の若葉が青々と芽吹き、生命力あふれる今日の佳き日に、御来賓の皆様、保護者の皆様に御臨席いただき、令和七年度愛媛県立北条高等学校入学式を挙行し、六十二名の新入生を迎えることができますことを、本当にうれしく有り難く思っております。

ただ今入学を許可された新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を、私たち教職員全員、心から歓迎しています。ようこそ北条高等学校へ。

そして、高校生になったお子様を、今日の日まで、愛情をこめて育て、日々支えてこられた保護者の皆様、関係の方々に、心よりお慶びを申し上げます。

さて、新入生の皆さんは、今どのような思いでこの席についているのでしょうか。今日から皆さんの高校生活がスタートします。人生は挑戦の繰り返しであり、その中で失敗から学び、成功へと繋がります。努力して成功すること、努力して失敗すること、どちらにも価値があります。大切なことは、努力することです。目の前のことを一つずつ乗り越えようと一生懸命頑張って挑戦してみてください。一生懸命の周りには必ず、応援し、支えてくれる人が現れます。

また、私は、皆さんに次の二つの心を育んでほしいと思っています。一つ目は、感謝の心です。我々は一人では生きていくことはできません。これまでも多くの人に支えられ、ここまで成長してくることができました。この高校入学という節目にあたり、自分の支え、つまり追い風になってくれていた人は誰なのか、自分は誰に感謝するべきなのかをしっかりと考えてみてください。二つ目は人を思いやる心です。これから生きていくうえで、人とのコミュニケーションは人間関係の基盤となります。多くの方は「自分のことを分かってほしい」と思いがちですが、相手の話をしっかりと聴き、共感しながら理解することで、自然と自分のことも理解してもらいやすくなります。この「感謝の心」と「人を思いやる心」を育み、誰からも慕われる魅力的な人間になって、幸せな人生を歩んでほしいと思います。

保護者の皆様には、お子様の成長と自立のために、互いに信頼し合い、力を合わせて支え合うチームメイトとして、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

本校は、昭和二十二年の創立以来、七十七年の歴史を紡いでまいりました。そして、令和八年度春に、北条高等学校のあるこの場所この校舎に、北条清新高等学校という愛媛に今までなかった新しい学校が開校します。令和七年度入学の新入生の皆さんは、北条高等学校から北条清新高等学校へと新しい歴史をつなぐ担い手として、重要な節目に巡り合った年次です。そのような巡り合わせの中、新たなスタートを切る皆さんは、北条高校での生活を通じて、多くの学びを習得しながら自分の夢に一步一步近づいていってくれることを期待しています。

結びに、御臨席の保護者の皆様、PTAの皆様、そして同窓会の皆様、地域の皆様に対しまして、改めて日頃からの本校教育に対する御理解と御支援に感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬ御協力を賜りますようお願い申し上げます。本日、北条高校生としての新しいスタートラインに立った新入生の皆さんの前途を祝し、式辞といたします。

令和七年四月八日

愛媛県立北条高等学校 校長 菊池 正敏